



NPO通信

開学20周年記念フェスタ'13



20年の歴史と未来を体感しよう！ -12月15日（日）記念シンポジウム

かわさき市民アカデミーの誕生は1993年。数多くの方たちの志、英知、熱意によっていまがあることを実感したい方はぜひご参加ください。きっと、アカデミーの未来は自分たちが担おうという思いを強くされるでしょう。

第1部 基調講演 (13:00~14:20)

「大学に未来はあるか？——新たなる千年紀に」 ■東京大学教授 吉見 俊哉先生

これまでの価値観や指標となるべきものがみえなくなっているいま、学びの殿堂といえる大学の歴史を通して学ぶことについて考えてみませんか。イギリスの市民大学についても詳しい吉見先生は、近代の歴史の中で市民アカデミーをどのように捉えればいいのかについても話してくださいませ。

第2部 パネルディスカッション (14:30~16:00)

■パネリスト： 東京大学教授 吉見 俊哉先生
 中国・東北師範大学名誉教授 黒沢 惟昭先生
 かわさき市民アカデミー学長 太田 猛彦先生
 NPO法人かわさき市民アカデミー 折居 晃一理事
 ■コーディネーター：前かわさき市民アカデミー学長 和田 あき子先生

第2部では、パネリストが基調講演の吉見先生、社会教育の専門家黒沢先生、太田学長、NPOの折居理事。コーディネーターは和田前学長です。アカデミーの歴史をふり返りつつ、それぞれの立場から未来に向けて大いに語り合ってくださいませ。

理事会報告

2013年度 第5回（10月）理事会

10月29日（火） 15時30分～18時30分

報告事項：21件 審議事項：4件

主な報告事項

- ・13年度上半期決算について
- ・安全委員会開催に向けての取り組みについて
- ・第二次中期経営計画委員会の報告について
- ・20周年記念事業実行委員会の報告について

主な審議事項

- ・特別講座について
- ・JASRAC管理曲の利用料の支払いについて
- ・各講座・WSの実施計画書と実施報告書の作成について



公開講座参加者募集

アカデミーをより身近に感じていただくために現在開催されている講座・ワークショップを体験していただく公開講座を実施します。

先着順で受け付けています。詳しくは「かわさき市民アカデミー公開講座参加者募集」のチラシをご覧ください。

申込み締切り：

1月10日（金）

予定表

2013.12.9 現在

2013年12月		
日	曜	行事予定
10	火	NPO 理事会
14	土	開学20周年記念フェスタ '13：記念講演ほか
15	日	開学20周年記念フェスタ '13：記念シンポジウムほか
25	水	大掃除
26	木	仕事納め
27	金	事務局閉室 ～1/5

2014年1月		
日	曜	行事予定
6	月	仕事始め
10	金	2014年度前期 受講申込み開始
13	月	成人の日 総合チラシ新聞折込み
15	水	公開講座
20	月	公開講座 代表世話人会議
22	水	公開講座
23	木	公開講座
27	月	公開講座
28	火	公開講座
29	水	公開講座
31	金	公開講座

2014年2月		
日	曜	行事予定
1	土	2013年度後期講座 概ね終了
4	火	説明会（麻生区役所）
5	水	説明会（中原市民館）
6	木	説明会（高津市民館）
7	金	説明会（ミューザ）
14	金	2014年度前期 受講申込み締切



特別講座

「見てきた北朝鮮」

副学長／科学ジャーナリスト 柴田 鉄治

11月30日(土)に生涯学習プラザで特別講座「見てきた北朝鮮」が開催されました。市民アカデミー以外の一般参加者6名を含め83名の方の参加でした。

講演の題目は講師の柴田鉄治先生が付けられたもので、9月に北朝鮮に行き、まさに自分の目で見て確かめた事を伝えたいという気持ちの表れだと思います。

講演で話されたエピソードには、実際に経験した人の話なので聴衆の多くも素直に納得してしまいました。講師である柴田先生のお人柄、素朴な話し方のなせる技でもあるのでしょうか、実際に見てきた人の貴重な話は説得力に富んでいました。

情報が氾濫し、IT化の進んだ現代でもその土地の食事をして、その土地の人に会い、時間を共有する意味は失われていないと感じました。

そもそもこの講演の企画も人が人に会ったことが発端です。顔を合わせればむだ話の一つでもするのが人の常。別件でアカデミーにこられた柴田先生の雑談を聞いた人から「それはおもしろそう」「もっと多くの人に聞かせたい」との声があがり、実現したものでした。

こんな講演会ならまた開いて欲しいという声が聞こえてきそうです。

(運営メンバー：日高 賢一)



「見てきた北朝鮮」 柴田鉄治先生の講演を聞いて

なかなか自分の目で見るのが難しい隣国の情報なので、是非伺いたいと思い参加しました。負の部分は見せないという面はあるのですが、それでも、携帯電話が普及してかなりの情報を得ていたり、タクシーが多かったりと、日本で言われているような国力の疲弊という側面は余り感じられなかったということです。情報を判断することの難しさを感じました。

先生が予想していた通り、戦前戦中の日本とそっくりだったというお話は「なるほどそうなのか」と納得しました。マスゲーム好きや忠誠心競争など、全員が同じ方向を向かなければダメという政治支配の状況があるのでしょうか。日本が再びそんな状況にならないでほしいものです。

(参加者：金井 紀久子)

新機関紙の名称募集！！

「NPO通信」じゃつまらない！ 新しい名前を付けてください。

川崎市の行財政改革の波を受け、かわさき市民アカデミーの存続が危ぶまれた時、「アカデミーはなくなっちゃうらしい」と受講生の間で噂されました。

しかし、2007年に「NPO法人かわさき市民アカデミー」が発足し、市民が中心になって運営する事で存続出来ることになりました。

NPOが運営を担当するものの、受講生の皆さんの協力なくしては「かわさき市民アカデミー」は運営できません。「NPOって何？」「今までと何が変わるの？」「市民がアカデミーを運営するってどういうこと？」「受講生が何かしなくてはならないの？」色々な疑問や不安の声が聞こえて来ました。

そのような状況下で、急遽「NPO通信」を立ち上げ、以来40号を発行しNPO理事会、各種会議の決定事項を掲載しNPOの運営方針などをお知らせすると共に、行事の告知・報告、講座・講師の紹介などアカデミー全般の紹介を行ってきました。

しかし、「NPO通信」ではいかにも味気ない！と言うことでこの度新名称を募集することとなりました。

これからも受講生にNPOの活動を知っていただくとともに、アカデミーをより身近に感じて頂けるよう楽しい機関紙を発行していきたいと思えます。

締め切り： 12月21日(土)

事務局のポストに投函するか、事務局員、講座担当理事に下記の応募用紙を渡してください。



発行：NPO法人かわさき市民アカデミー 仮称 NPO通信 編集委員会

連絡先：TEL：044-733-5590 メール：info@npocademy.jp

NPOホームページ：http://npocademy.jp

応募用紙

新 NPO 通信の名称

御名前

受講講座